



THE IDOL MASTER M@STER CINDERELLA GIRLS
FANBOOK

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止





ようこそ〜♪...



今日はもちつきですよ♡

カワイイボクに
ぴったりイベントですね!

ち
ち
ち
もち
臼

啾茶丸



ボクのためにおいしい
おもちをついてくださいね!



ハイ、Pさん♡

というわけで...

ズッ...

今日は正月の行事
【もちつき】

Pさんは幸せ者ですね

Pの威厳にかけて
男らしさをアピール
してやるぞ!!

ホクのために
おもちが、モチモチ

Pさん
準備できましたよ

うるさいですね

アアアアアアアアアアアア



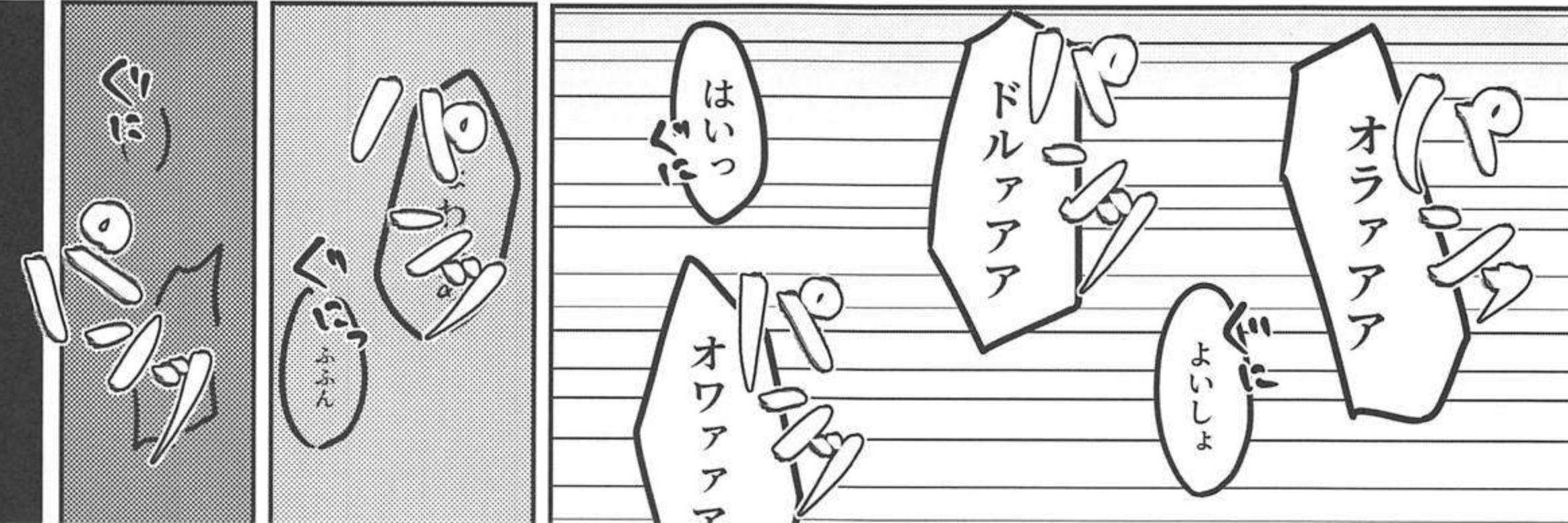
よし
イクぞ幸子!!

はい!

手エ挟むなよ

はい♡

アハハ



オラアアア

ドルアアア

オワアアア

はいっ

ふふん

よこしよ

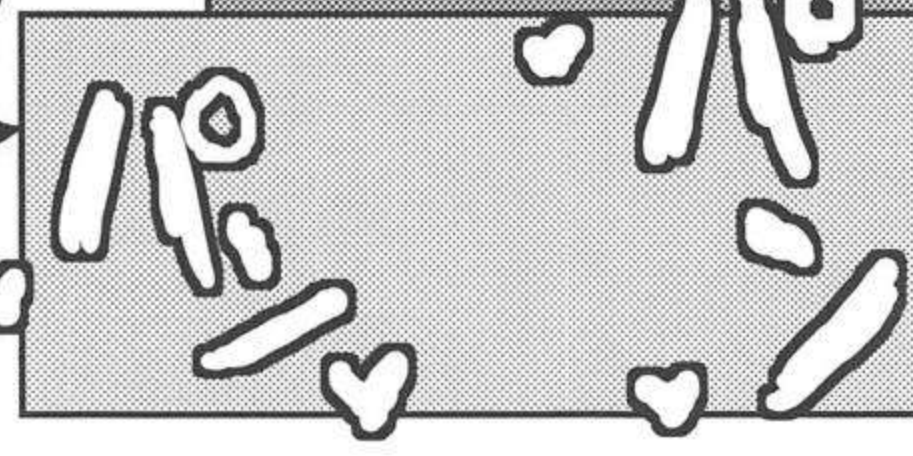
あーっ!!



へったん

ぱんっ

へったん



あーっ♡♡♡

ズッ

ズッ

えええええええええ
えええええええええ!

あーっ♡♡♡

幸子…!?

あーっ♡

これはっ!?

ズッ



幸子の子宮を
ついてた…!!

もちをついていた
はずが…

はあ

Pさん…?

はあ



もう疲れちゃったん
ですか?

え
いや
別に…

ふふん
まったくだらしない
ですね…



今度はボクが

気持ち良くして
あげます♡

ちよっ…
おい…っ!!

chu♡

なんで俺とお前が
こんな…っ!!

てかめちやめちや
上手いな幸子…っ

ち+33。

ブルッ

ぐっ

出ッ……!!

いかに
かま
すの
か

か
か
る
か





まだまだ元気じゃないですか♡

…疲れてたかと思いきや

ふふん…っ
いっぱい射精ましたね



じゃあ

続き…
いけますよね…っ

ちよつと待てっ幸子…
す…少しは休憩を…!!

はっ!!?

なんですかあ?
もっと頑張ってくださいね

ぬ…っ…っ…っ

ドキ

ウツ

すっ
ちゅ

すっ
ちゅ

すっ
ちゅ

すっ
ちゅ

キュン

びく

びく

びく

びく

びく

びく

でも：
これじゃあ突かれてるのは
Pさんの方ですねえ…？

ふーっ♡

ふーっ♡

ドキッ
ドキッ

ついてくれるんじや
なかったんですか？
ボクにとっておきのおもちを！

うおおおおお！！

ぷ…Pさん…？
どうしちゃったんですか…？

ふえ！？
いきなり…！？

お望み通り見せてやるよ
最高のつきってヤツをな！！





えっ?

今度は後ろから
ですか?

オラアッ

さっきまでの威勢は
どうしたんだ幸子

イッたら罰ゲームだぞ

…へ?



墨付け正月だツ!!

お洋服がっ
よこれちやうじやないですかあっ♡

あッ
アッ
アッ

ビーン
トフッ♡



幸子...

そろそろ...



いつでもいいですよ
Pさん...♡

CHU

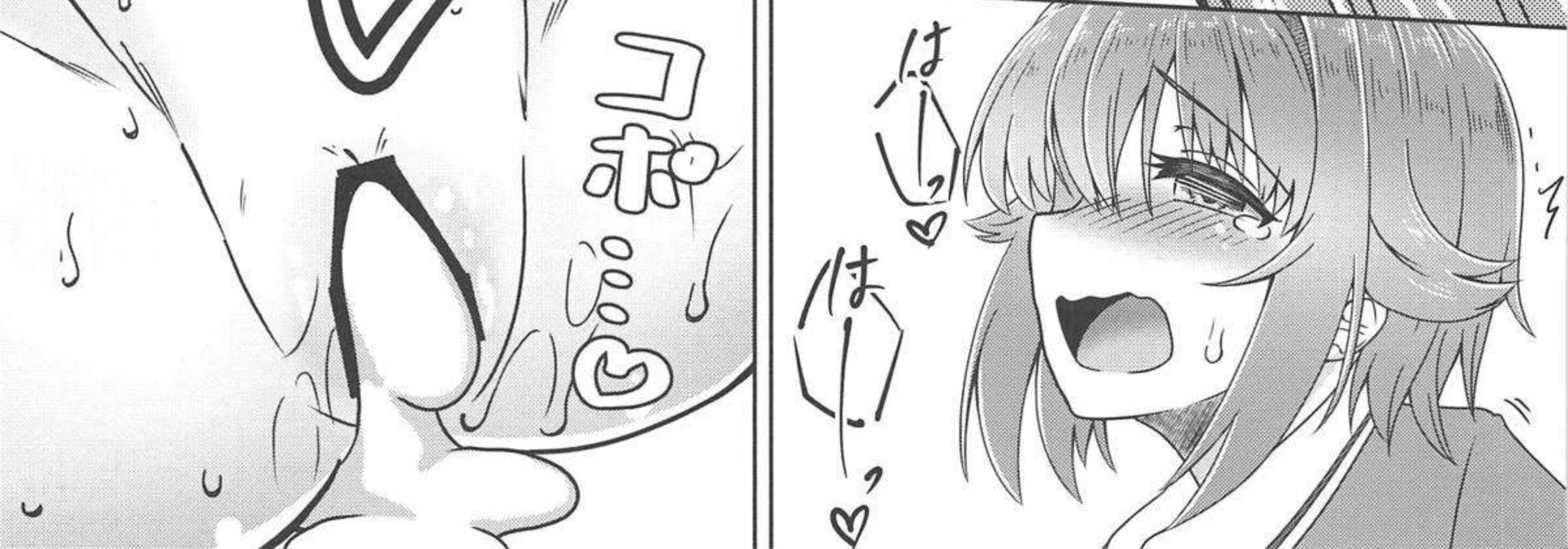


はっ♡



大好きだぞ幸子!!

大好きだぞ幸子!!



「ホッ」

はーっ
はーっ
はーっ

万策尽まりました。

ごめんなさい。

俺は某アイドル事務所のプロデューサー。
俺には最近気になっていることがある。

「なあ幸子お。少し前から聞きたかったことがあるんだけど」

「なんですか？カワイイボクがなんでも答えます」

「なんで服着てないの？」

そう。

うちの事務所の看板アイドルである幸子（カワイイ）が
なぜか全裸で事務所内をうろついている。

そういう年頃かと思つてあえて触れないでいたが

来週のライブ前に風邪を引かれると困るのでいい加減触れてみた。

「仮にもアイドルだぞ。事務所内に俺しかいないから大事にはならんが流石に自重してくれ」

「なんでボクがPさんしかない事務所。パーフェクトボディを晒しているのか考えてください。」

「へ？」

「Pさんを誘つてるからに決まつてるじゃないですか」

「…幸子、俺も男だ。毎日お前の裸見て勃起しないわけじゃない。冗談じゃ済まされない

暴走を遂げるかもしれないのだ。自分の身を守ると思つて服を着なさい」

「でもボクはPさんとHなことしたいです。今だつて勃起してるんじゃないですか？

ボクはいつでもPさんを受け入れる準備できてるんです。それに…」

「知ってますよ？ちひろさんにちよくちよく性処理してもらつてるの。見ましたから。

…溜まつてるもの、ボクでスッキリさせませんか？」

「……っ!!」

なんべん言っても幸子が
服を着ないからセツクスする。



しらす

Pさんを誘うために毎日裸で過ごしていたら、
ついに今日Pさんが襲つてくれました♪
…、でもこんな大きいオチ○ポが
カワイイボクのお口に入るんでしょうか？

まあ、いくら毎日ちひろさんを鬼イかせている
Pさんでも、カワイイボク相手にそう乱暴は
しないに決まっていますよ。フフーン。
まったく愛されていますね、僕はコロボック

「「オラアアっつ!!」」
「んぶぶっつ!!」

思いつきり喉奥までぶち込まれちゃいましたあ☆

「毎日毎日ムチムチのケツ振ってウロチヨロしやがって!!
もう我慢の限界じゃあああああつ!!」

んっ♡

いっふっ

「ふほっ、いっふお、おえ・P、ひゃん、
くるひっ、ほれえ、ごちゅごちゅ当たっへー」
「これが欲しかったんだろ幸子!二度と大人を
誘惑しないように躡けてやるからなあつ!
(でもカワイイ……//)」

「いふもっ、みひゃいに……はワイイはワイイ
ひてほひいれふっ、じゅぶ……おっ」
こんなにされたらボクのカワイイ顔が
メス顔に作りかえられちゃいますよお……。
「俺のチンポで喉をナデナデしてやってんだろ!」

「出すぞっ、全部飲み幸子お！」
「んんんっ!」

どびゅーっ! どびゅーっ! どびゅーっ!
どびゅーっ! どびゅーっ! どびゅーっ!

んんんっ! ♡

どびゅーっ! ♪

どびゅーっ! ♡

すっごい勢いでPさんの子種が打ち出されて、
窒息しそうになりましたあゝでも幸せえ……。

「幸子のカワイイ口に射精……あー幸子カワイイ。
胃の中を全部俺の臭いで満たしてやるっ、
幸子は俺のモンだってマーキングしてやる!」

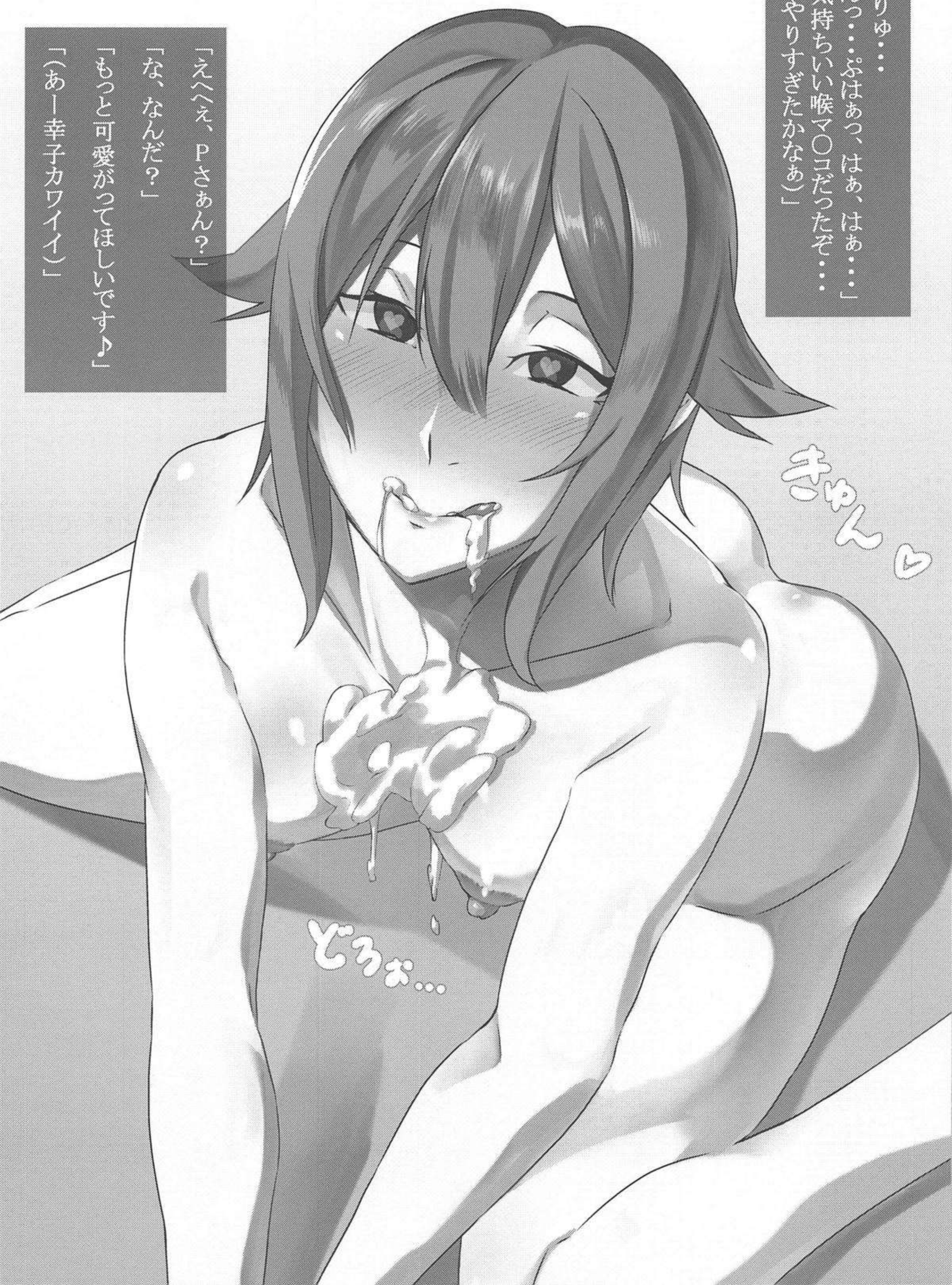
「(そんなことしなくてもボクはPさんだけの
ものなのに……。自分のカワイさが恐ろしいです)」

ずりゆ……
「んっ……ぶはあっ、はあ、はあ……」
「気持ちいい喉マ○コだったぞ……」
(やりすぎたかなあ)

「えへへえ、Pさあん？」
「な、なんだ？」
「もっと可愛がってほしいですマ」
「(あー幸子カワイイ)」

きゅん♡

どろお…



「幸子、俺もう我慢できんぞ」

「フフーン、いいですよお？ ボクのカワイイおま○に」

「Pさんの凶悪なデカチン突っ込んで犯してくださいね♪」

「フウツ！フウツ！」

Pさん目が怖あい♪鼻息荒くしてますね。

それにしてもPさんのオチ○ポ大きい……

血管浮き出てゴツゴツしてて……

こんなの入れられたら壊れちゃいますよお。



「いくぞっ!!」

「ひぎひぎ!?!」

ズプウッ!ごりゆっ!ぐぽっ、ぐぽっ!

おっ、おっ、意識飛ぶかと思いましたがあ……♪

ひぎひぎ

「Pさんっ、これっ、大きすぎてっ、

子宮まで入っちゃってますっ」

「幸子っ!幸子っ!カワイイ!

もっと突いて俺のチ○ポの味を
覚えさせてやるからなあ!」

「(ダメだ聞こえてない……)」

ぐぽっ♡

ぐぽっ♡



ずりゆう……ぽつ……ぶびゆる!

長い長い射精が終わって、体の痙攣がおさまってきました。

「ふう……これで種付け完了だ幸子。」

「あん☆いきなり抜くからまたイっちゃいました」

「満足か幸子?」

「もっと欲しいれすう……キスしてください」

「まだ足りんのかこの淫乱め……」

(まあ俺もまだいくらでもやれそうだが)

「ちゅぱつ、んちゅつ、れろお…… Pさんだいしゅき……」



ぽお……

びて……
とっん

おねだりしたら、後ろから交尾スタイルで
キスハメしてくれました♪ ボクのかわいい
上目遣いに、Pさんのオチ○ポが反応してて
カワイイです。ボクの方がカワイイですけど。



「あー幸子カワイイ」
「ちゅぱっ…あれ、Pさん？」
「幸子カワイイ幸子カワイイ」
「(そろそろ脳死してますね(汗))」

Pさんの絶倫オチ○ポが遠慮なしに行ったりきたりしてます…
この体位、Pさんに求められてる感じがして大好きです♪

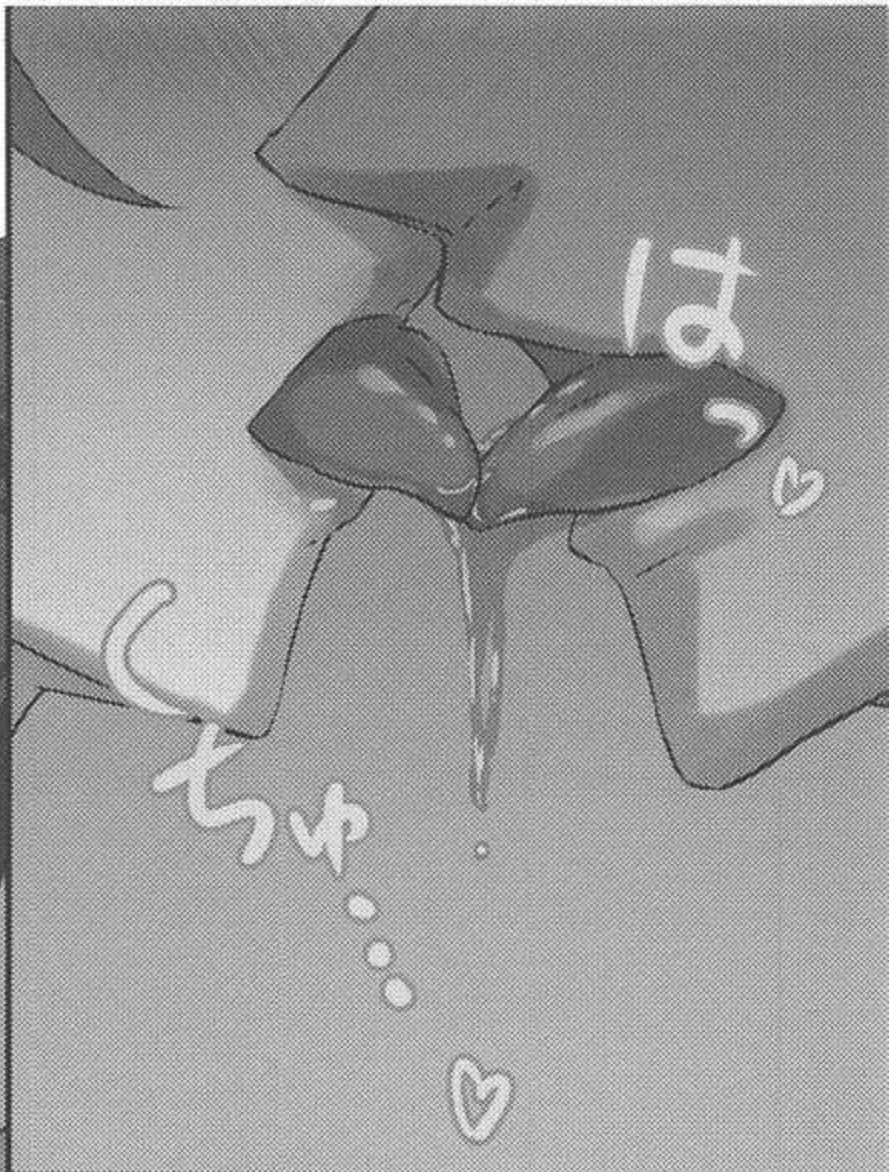


「ま○こも大概だがこんなエロい乳しやがって…ずっと揉みたいっ」「フフーン、Pさんが望むならいつでも好きにしていんですよ?」「うおおっ!これからは毎日可愛がってやるからなっ!!」

オチ○ポがびくびくしてきました。射精しちゃうんですね?ボクのひとつしかない子宮をたくさんの精子で集団レ○プしてください☆



あはっ☆ 射精してるっ♪
Pさんの遺伝子たっぷり詰まった
変態オタマジヤクシがボクの子宮を
元気に泳いでますう……あへえああ……♪



「うおおっ、中に出すぞ、幸子っ、
俺が女にしてやるからなあっ!!
イケっ!!イキ狂えっ!!」
ぷびゅうううっ!!ぽびゆるっ、
どぶっ、どくんっ、どくんっ!!

「んんっ!? (舌ねじ込まれながら
種付けっ、これ効くうっ、
頭まっしろになりましゅうっ☆)」
「あー幸子カワイイ。
いくらでも出せるわこなん。」

んっ♡
ふびゅるるるる
がっ♡



しゅきっ、らいしゅきい……
ずっとPさんと繋がっていたいけど、
もういきすぎて体がガクガクです♪

「はあ……はあっ……くう、
幸子、俺の嫁になつてくれ。」
「もう……Pさん調子いいこと
言ってますけど、他の子にも
同じこと言ってるの知ってるん
ですからね？ボクが一番じゃ
なきやイヤですよ？」

「それと幸子」
「な、なんですか？(ドキツ☆)」
「これからは服着ろ」
「ハイ」

ちぢぢ しらす

発行日 2018/12/31

サークル サソリヲトメ

代表者 蠍茶丸

Mail

蠍茶丸：scorpiontea@sasoriwotome.com

しらす：paintlatte@sasoriwotome.com

印刷・製本 サンライズ様



2018
WINTER
サリヲトメ